

平成28年2月19日10:00～12:00

文部科学省3F1 特別会議室

中央教育審議会 生涯学習分科会
学習成果活用部会(第10回)

「検定試験の活用について」

～日本語検定、実用数学技能検定の活用をとおして～

帝京平成大学

横 田 雅 史

帝京平成大学児童学科の特色

- 開放制である⇒教職免許を取得できる
- 1学年の学生数:100人定員
- 教職免許取得者:90人強
- 小学校教員免許取得者:90人強
- 特別支援学校教員免許取得者:35～40人
- 教員採用試験受験者数:55～65人
- 一次試験合格者:30人強
- 二次試験合格者:14人+期限付き採用8人

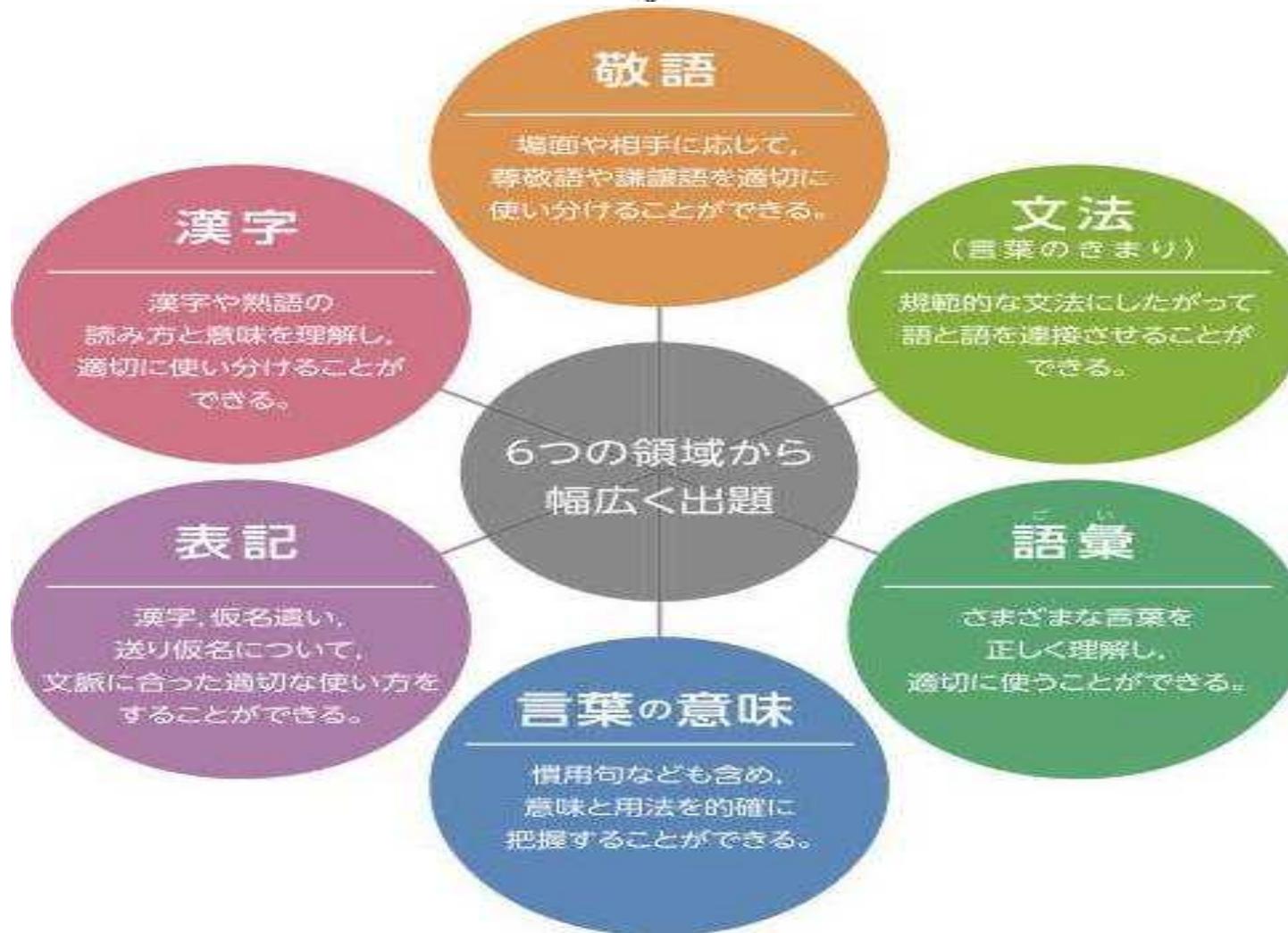


		認定の基準						
受検級		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
総合得点率	100%	1級認定	2級認定	3級認定	4級認定	5級認定	6級認定	7級認定
	80%	準1級認定	準2級認定					
	70%			準3級認定	準4級認定	準5級認定	準6級認定	準7級認定
	60%	不合格	不合格					
	0%			不合格	不合格	不合格	不合格	不合格
領域別得点率		得点率が基準（60%が目安）に満たない領域がある場合には認定されません。		得点率が基準（3、4、5、6級は60%、準3級、準4級、準5級、準6級は50%が目安）に満たない領域がある場合には認定されません。				なし

認定証は、各級認定者および各準級認定者に交付いたします。

※個人カルテやWEB上での合否速報では、「認定」、「準認定」、「不合格」と表示されます。「認定」と「準認定」が合格です。

日本語の総合的な能力を測る



総合問題

上記6領域にとどまらず、読解問題なども扱う
長文を材料にした問題、グラフや表、イラストマップを使った問題などで構成

実用数学技能検定

数学検定

1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
大学・一般	高校3年	高校2年	高校1年	中学校3年	中学校2年	中学校1年

算数検定

6級	7級	8級	9級	10級	11級	かず・かたち検定 ゴールドスター シルバースター
小学校6年	小学校5年	小学校4年	小学校3年	小学校2年	小学校1年	幼児

1
～
5級

1次・2次検定ともに合格



「実用数学技能検定合格証」

1次：計算技能検定のみに合格



「計算技能検定合格証」

2次：数理技能検定のみに合格



「数理技能検定合格証」

6
～
11級

合格点に達した場合



「実用数学技能検定合格証」

不合格



「未来期待証」

かずかたち検定

合格点に達した場合



「実用数学技能検定合格証」

不合格

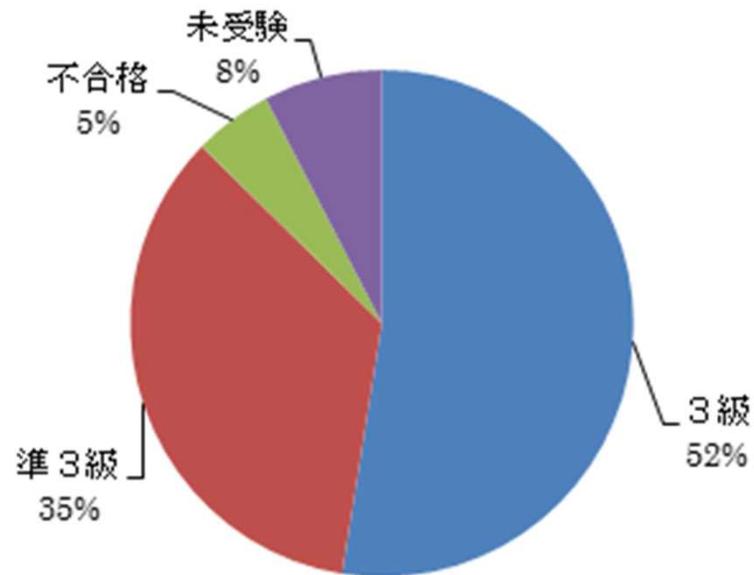


「未来期待証」

日本語検定の受験状況①

○平成26年年度入学生

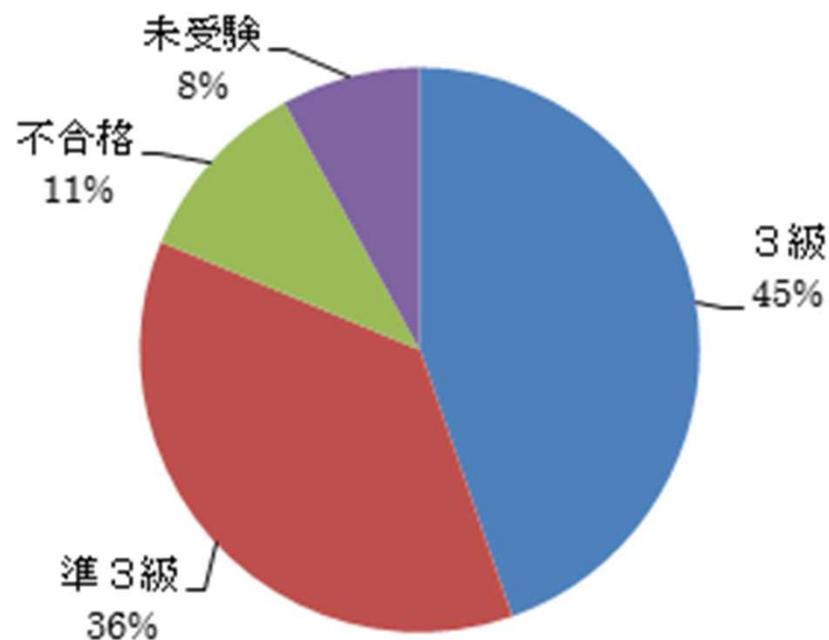
	3級	準3級	不合格	未受験	合計
人数	62	41	6	9	118



日本語検定の受験状況②

○平成27年度入学生

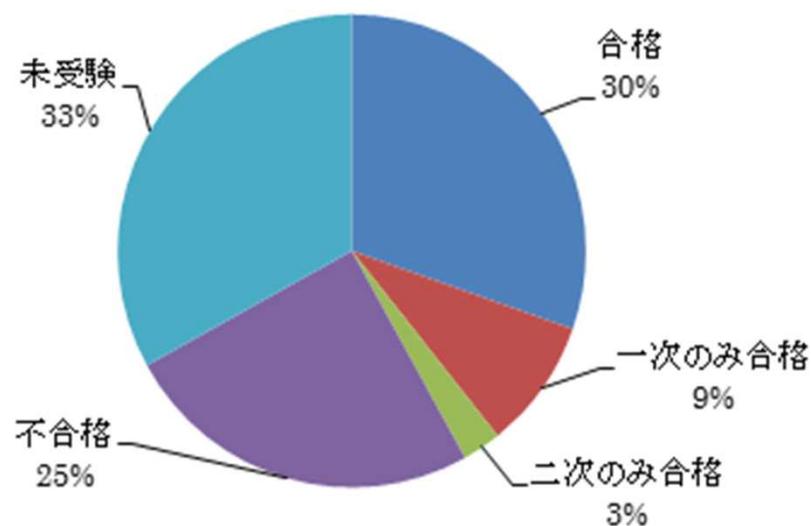
	3級	準3級	不合格	未受験	合計
人数	50	41	12	9	112



実用数学技能検定の受験状況

○平成27年年度入学生（平成27年9月19日実施）

	合格	一次のみ合格	二次のみ合格	不合格	未受験	合計
人数	34	10	3	28	37	112



日本語検定、実用数学技能検定

- 1 日本語検定準3級、実用数学技能検定3級は、3年次の「教育実習 I」の履修要件
- 2 学生の実態に合わせた難易度の調整は全くない外部評価
- 3 入学直後から、学生の学習意欲向上につながる

日本語検定の意義

- 1 教員としての基礎的な知識、教養力
 - 2 将来、小学校教員として国語教育に携わるための必須事項
 - 3 読む、聞く、話す、書く力の基礎的能力の向上
 - 4 語彙力、思考力⇒面接力の向上
- ※ 日常生活に必要な日本語(文化の伝承に通じるもの)の最低限の学びをしましたという保証
- ※ 自信につながるのは、2級以上

実用数学技能検定の意義

- 1 教員としての基礎的な知識、教養力
 - 2 将来、小学校教員として算数教育に携わるための必須事項
 - 3 高等学校の学習で身に着けておかなければならない事項の補完教育
 - 4 外部団体の基準。学生の能力、大学での学修成果を評価する指標として活用
- ※ 日常生活の中に数学的思考の活用
- ※ 自信につながるのは、2級以上